

生徒や教員の卵の成長の場となる「ゆーまにわ学習室」を整備した

地域学生団体ゆーまにわ

活動の目的

- ・大学生や地域の人と関わる中で、生徒が多様性を当たり前を感じるようになること。
- ・将来岡山県北地域で教員になることを目指す大学生が、指導力や地域と協働する力を身につけること。
- ・上記2つの達成により、地域教育をアップデートすること。

活動の内容及び経過

活動拠点である「ゆーまにわキャンパス」にて、小中高生対象の「ゆーまにわ学習室」を運営している。いただいた助成金でクーラーや照明等の環境整備を行い、6月に本格始動した。大学生講師が自分の得意分野を生かしながら、主に国数英社理の5教科を指導している。テスト対策や苦手な単元の復習など、生徒の要望に合わせて個別にかつ柔軟に対応している。さらに、9月からは「プロジェクトゆー」も始動した。地域の人に協力してもらいながら、生徒の夢を一緒に叶える取り組みである。第一弾では、「手作りの竹竿で釣りをしたい！」というある小学生の夢を叶えるべく、一緒に計画を立てた。先日地元の竹竿づくり名人に教わりながら七輪で竹を炙り、竹竿が完成したところだ。また、中学生のある生徒は「いちご飴を作りたい！」とのことだったので、理科の質量パーセント濃度の復習を絡めながら適当な濃度の砂糖水を作り、それを使っていちご飴作りを楽しんだ。そして現在、「韓国語を本格的に勉強したい！」というある中学生の目標を達成すべく、一緒に計画を立てているところである。「将来韓国に行ってみたい！」とのこと。実際に真庭市にいる在日韓国人の人と交流することなどを視野に入れ、生きた韓国語を学べるようにしたいと考えている。

活動の成果・効果

口コミを中心に広まり、現在13人の生徒がいる。

実施したアンケートや日々の会話の中で、生徒からは「楽しくてわかりやすい。」「少人数でやるから授業中に質問しやすい。」「5教科の点数が100点伸びた!」「先生にたくさん質問するようになってニガテが克服できた!」「勉強方法を見直して、ノートの取り方などに気を付けるようになった。」といった声をもらった。保護者からは、「ゆーまにわ学習室をきっかけとして子どもとの会話が増えた。」「家にも勉強するようになった。」「いつも授業のためにゆーまにわキャンパスへ送る際、子どもが楽しみにしている。」といった声をいただいている。また、地域の人からも「協力するからいつでも頼ってね。」と応援の声をいただくことがある。大学のない真庭で、大学生が身近な存在となりつ



つある。

教員志望の学生にとっては、勉強を分かりやすく教える技術だけでなく、保護者とコミュニケーションを取ったり、地域の人と連携したりする力を身につけられる貴重な機会となっている。

「ゆーまにわ学習室」は、生徒のみならず、未来の教員の成長の場となり、地域教育をアップデートしつつある。

今後の課題と問題点

- ・中学生の授業では目先のテスト対策が優先され、「プロジェクトゆー」があまりできていない。
- ・巻き込めている地域の人に限定的である。
- ・日々の授業の反省を次に生かせていない。
- ・生徒の募集が十分できていない。

●代表者：大倉千穂 ●所在地：真庭市落合垂水
●TEL：070-2367-1117 ●E-MAIL：univ.maniwa@gmail.com
●URL：https://youmaniwa.com/
●設立年：2017年 ●メンバー数：18名